

令和3年度 シラバス

教科	情報	科目	情報の科学	学年	第1学年	学 科 類 型	普通科
単位数	2単位	教科書	情報の科学（東京書籍）				
副教材	情報の科学学習ノート（東京書籍）、これだけOffice2016（数研出版）						

学習目標	情報技術では、情報化社会における情報端末、ネットワーク、情報システムなどの技術について理解して、それらの企画、開発に関わる人材を育成します。また、問題解決では、情報通信ネットワーク、アルゴリズム、データベース、モデル化とシミュレーションの全てが問題解決と関連していることを理解します。情報モラルでは明確に法律や制度に関して扱い、正しい判断力を身に付けます。
------	--

キャリア教育の視点	単純にシステムエンジニアを育成するのではなく、情報社会に関わる社会人を育成します。また、積極的にコミュニティに関わる態度を身に付けます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	1章 コンピュータの仕組みと働き 1 コンピュータ	コンピュータの構成や、どのような仕組みで画像や音が処理されるかを考えます。	期末考査
	5月			
	6月	2 情報通信ネットワーク	情報通信ネットワークの仕組みを知り、インターネットの安全な利用法を考えます。	
	7月	3 データベース	大規模情報の蓄積と管理の方法を考えます。	
2 学 期	8月	2章 問題解決とコンピュータの活用 1 基本的な考え方と手順	問題解決のプロセスを考え、適切な情報分析とそれによる問題の解決方法を考えます。	期末考査
	9月			
	10月	2 モデル化とシミュレーション	複雑な問題をモデル化し、シミュレーションを行います。	
	11月	3 処理手順の明確化と自動化	アルゴリズムをプログラミングし、自動実行することで、アルゴリズムの意味を理解します。	
	12月	3章 情報社会の科学的な理解 1 社会の情報化と人との関わり	情報化されていく社会の変化を調べ、そこでの生活の変化とその対応を考えます。	
3 学 期	1月	2 情報社会の安全	セキュリティの重要性を中心に、情報社会で安全な生活を脅かす要因とその対策を考えます。	学年末考査
	2月			
	3月	3 これからの社会と情報モラル	これからの情報社会に積極的に関わるために、情報モラルとマナーを身に付け、今後の社会の発展を考えます。	

学習の方法	週2時間の授業では、教科書・ワークノートを中心にした学習とコンピュータを活用した実習を行います。また、知識を学ぶだけでなく、ネットワークの活用などの身近な具体的事例を基に、問題意識を持ちながら情報社会に積極的に参画する態度を養います。
-------	---

評価の仕方	定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は次の4点で評価します。 1 授業への参加状況と活動意欲 2 ワークノートの活用状況 3 レポート(Word、Excel、PowerPoint、VBA(プログラム)) 4 レポートを基にした発表での生徒同士の相互評価
-------	---

備考	
----	--